

# マサチューセッツ総合病院 & The one hundred 授賞式

2014年6月10日(火)

マサチューセッツ州ボストン

# MICHAEL BERGMAN



MGH治験の責任者

治験対象者は多くの希望者から統一基準で選ばれる。

治験のために必要とされる費用は、寄付からも提供される。そのためのファンドレーザーがいる。

治験に協力した患者で、治験薬が有効なら該当薬剤は生涯その製薬会社から無償で提供される仕組み。

# がん治療と治験



外来施設、入院施設、治験用施設は別々に建てられている。  
それぞれの建物にそれぞれの名称がつけられている。  
寄付者の名前がついている建物もある。

# がんセンターランキング第6位



## 事務担当の施設



モチベーションを高める工夫なのかなぁ・・・

# それぞれの役割別建物

治験用の施設に向かう

治験施設  
フロアごとに科が違う



# 患者・家族のための資料室



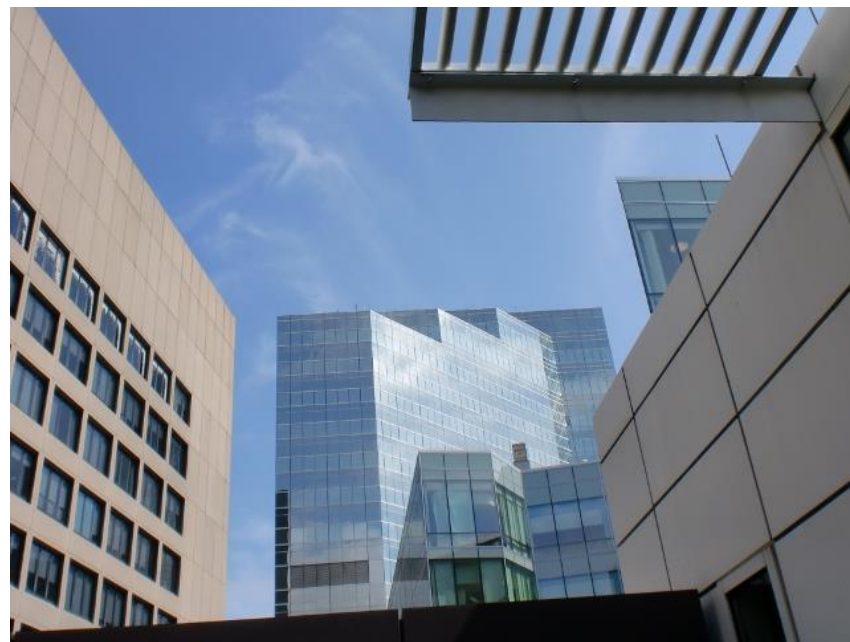
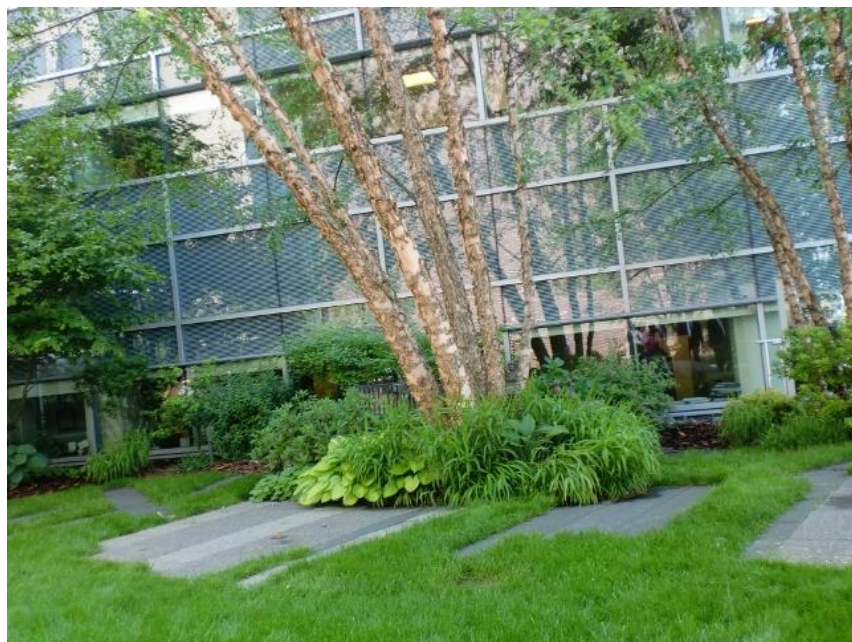
全ては患者・家族の満足度を優先して工夫されている。  
医療は手探りであることをすべてのステークホルダーが認識している。  
全てのステークホルダーは自分の役割を理解し誇りに思っている。

# あふれんばかりのメッセージ



治験の役割を理解していることの表れか・・・。

# 癒しの空間と宿泊できる施設





# 治験センターと外来施設



# 「医療」の広さと「自分事」

- ボストンの医療施設を視察し感じた事  
医療のとらえ方が幅広い
  - ・医療の均てん化を強く意識している
  - ・当事者の意向を尊重している
  - ・患者・家族のQOL向上も重要な医療
  - ・治験に対する取り組みも、重要な医療の位置づけ
  - ・医療者と患者の距離感を近づける役割が充実している
  - ・がんを「自分事」としてとらえている
  - ・すべてのステークホルダーが、相互に敬意を払っている

# The one hundred授賞式

- Westin Boston Waterfront

西條長宏先生 日本人初の受賞

日本の臨床腫瘍学の発展に貢献

日本の化学療法(内科的治療)の草分け的存在

- 受賞者は、医療者だけでなく、アドボケイトや寄付者等対象とされるステークホルダーの分野は幅広い

# 西條先生とパーティワイン



Westin Boston waterfrontホテルにて



いつかはここに甲州ワインを・・・

# 受賞の瞬間



# がん関連専門医の日米比較

専門分野	日本(人口約1億3千万人)	アメリカ(人口約3億人)
内科	13,685	183,924
腫瘍内科	126	9,972
外科	13,782	40,653
胸部外科	2,987	6,271
呼吸器外科	1,139	350
放射線科	4,810	44,241
放射線腫瘍医	500	4,559
放射線物理士	?	2,745